



平成30年度

「第11回透析液安全管理責任者研修会」

開催のお知らせ

後援：一般社団法人 日本透析医学会 公益社団法人 日本透析医会 日本防菌防黴学会

我が国におきまして、透析液の水質管理は臨床工学技士の重要な業務であると認識し、日本臨床工学技士会透析関連安全委員会では「透析液清浄化ガイドライン」を2006年8月より発行し、現状に則するよう随時更新してきました。また、このガイドラインに示された透析液水質管理を実践する「透析液安全管理者」の育成を目的に、平成20年度より「透析液安全管理責任者研修会」を開催し、今回で第11回目となります。

今回は日本透析医学会より「2016年版透析液水質基準」が提示され、特に化学物質の管理基準等について十分な知識による対応が重要になると思われまます。また当会より提示していた透析液清浄化ガイドラインも「2016年版透析液水質基準達成のための手順書」と改訂し、より臨床現場に対応できるよう作業を進めてまいりました。透析液安全管理者は勿論ですが現場で責任ある立場で勤務している方の受講を期待しております。

開催概要

- 会 期：平成30年7月7日(土)～7月8日(日)
- 会 場：ソラシティカンファレンスセンター2Fホール
(東京都千代田区神田駿河台4-6)
- 受講定員：396名(定員になり次第締め切ります)
- 受講料：(テキスト代を含む。テキストは会場でお渡しします)
(公社)日本臨床工学技士会 会員 15,000円
非会員・医師 30,000円※
- ※(但し、15,000円の差額は当会が開催する講習会・研修会事業への協賛金として取り扱う)
- 受講対象者
(公社)日本臨床工学技士会 会員、非会員(臨床工学技士、医師)
※臨床工学技士は、透析技術認定士取得または5年以上の実務経験が必要です。
- 申込期間：平成30年5月1日(火)～5月13日(日)
- 申込方法：当会会員システムe-プリパドより行っております(オンライン決済)。詳細はJSCホームページでご確認下さい。
- その他：「血液浄化専門臨床工学技士」取得単位は10単位となります。

■プログラム【予定】

- 講義1 透析液安全管理体制と透析液安全管理責任者の役割
- 講義2 透析機器安全管理委員会の運用と役割
- 講義3 透析液清浄化の変遷と今後の対応
- 講義4 透析液汚染の種類と対策
 - 1)微生物学的汚染
 - (1)微生物制御、バイオフィルム対策
 - (2)透析システム中の微生物検出法
 - (3)透析システム中のエンドキシン測定法
 - 2)化学的汚染
 - (1)透析用水作製装置に関する管理基準の解説
- 講義5 2016年版透析液水質基準に沿った管理方法
 - 1)透析用水作製工程での管理方法(原水、RO原水等)
 - 2)透析液作製工程での管理方法(供給装置、溶解装置、透析用監視装置、配管等)
 - 3)オンラインHDF等の運用と管理手順
- 講義6 透析液作製の基礎と組成管理

詳細は当会のホームページで随時ご案内致します。

◆お問い合わせ

公益社団法人 日本臨床工学技士会 JACE研修センター(本部)

〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-4 KTお茶の水聖橋ビル5階

お問い合わせはJSCホームページのお問い合わせフォームよりお願いいたします。